



1 学年UR I・GR I 「学習成果発表会」 2 学年AR II・数理探究 「研究計画報告会」

普通科1年では、全6回のアントレプレナーシップ教育講座の成果を各クラスで発表しました。

英語科1年では、異文化理解の探究活動の成果をChromebookを利用して班ごとに英語での発表を行い、質疑応答を実施しました。

普通科及び理数科2年では、研究テーマとその計画について発表会を実施しました。

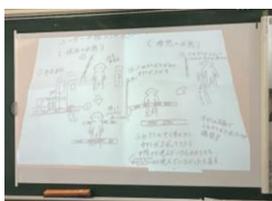


図1 スライドや端末、ポスターを利用した発表会の様子
アントレプレナーシップ発表会(左上)、GR I発表会(左下)、研究計画報告会(右)

SSH委員会 新委員長へのインタビュー

生徒による自発的な探究活動を推進するための生徒SSH委員会も2年目を迎えました。2代目委員長の日名子さん(2-E)のインタビューを紹介します。



SSH委員長 日名子 さん

SSH委員の活動は？

主に3つの仕事があります。1つめは、SSH Labの整備です。課題研究がしやすいような環境づくりを行っています。

2つめは、SSH事業での配信です。講演会だけでなく、SSHの普段の授業の配信も行っています。

3つめは、SSH講演会での講師の方との打ち合わせです。

昨年度は、武蔵野大学の中西先生とデータサイエンス講演会の打ち合わせを行いました。

今後の意気込みと一言

今後の活動については、中高大社連携の取り組みや、普通科、理数科、英語科の課題研究の充実を目指していきます。

また、北高のSSHを皆さんと盛り上げていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

SSH職員研修 探究型授業について

6月24日に「探究型授業」をテーマにSSH職員研修を実施しました。

最初に、グランドデザインやスクールポリシー、マクロルーブリックの繋がりについて紹介した後、探究型授業の目的や位置付けを説明しました。

その後、探究型授業の実践例を作成するワークに取り組みました。今回提案された授業プランでは「多面的思考力」を育むプランが最も多く提案されましたが、他の5つの資質・能力もバランスよく計画されていました(図2)。

また、合教科型授業のプランも提案されました(表1)。

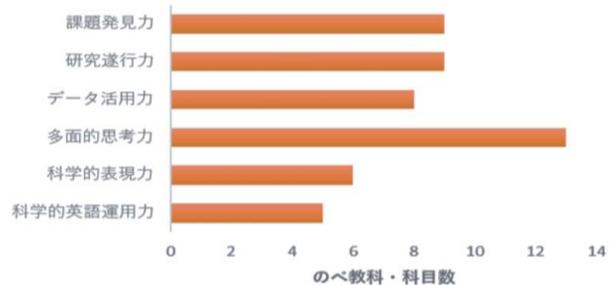


図2 探究型授業で主に育む探究活動に関わる資質・能力

表1 合教科型の探究型授業プラン

《教科・科目》	《資質・能力》	《目標》
英語×世界史	科学的英語運用力	近現代史を知ることで現在の戦争を理解する。
倫理×生物	多面的思考力	実験動物のケアと倫理的課題を考える。
数学×体育	データ活用力	50m走のタイムと年齢等の相関を調べる。
公民×美術×文化祭	研究遂行力	広告・価格による行動変容を文化祭で検証する。
英語×日本史	研究遂行力	江戸時代に学び、未来のあるべき姿を想像する。
日本史×化学×家庭科	研究遂行力	縄文時代の食糧事情と現代との差異を追求する。
生物×現代社会	研究遂行力	新型コロナウイルスとその変異について学ぶ。
言語文化×英語	科学的英語運用力	和歌を解釈し、歌の主意に基づいて英訳する。
古典×英語	研究遂行力	英語の文構造を用いて漢文の読解を進める。

KUMAKITA TS法・探究活動支援法の他校への普及

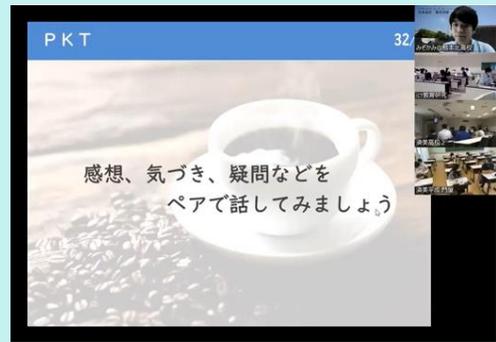


図3 テーマ設定に利用するツールをワークショップを通して他校職員が学ぶ様子
左: 熊本県内の学校、右: 愛媛県の学校2校(オンライン同時中継)

熊本北高校SSHで培ってきた課題研究のテーマ設定法や探究活動支援法について、他校への職員研修や課題研究支援を通して、普及を進めて

います。

県内の学校には直接訪問し、ワークショップを実施しています。また、県外の学校からの依頼には、本校の強みであるオンラ

インを利用したワークショップを実施しています。校内での研究開発を進めると共に、県内外問わず、他校への普及を今後とも進めていきます。